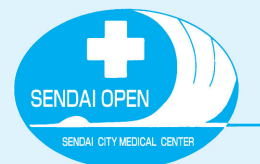


れんけい renkei



公益財団法人仙台市医療センター仙台オープン病院 地域医療連携室

〒983-0824 仙台市宮城野区鶴ヶ谷5丁目22-1

TEL:022-252-1111(代表) FAX:022-252-1126(連携室直通)

URL:http://www.openhp.or.jp e-mail:renkei@openhp.or.jp

vol. 97

【仙台オープン病院 理念】

思いやりのある心で信頼される優れた医療を提供します。

第44回仙台オープン病院登録医会ゴルフ大会

渋谷クリニック 渋谷 和彦 先生

第44回仙台オープン病院登録医会ゴルフ大会が令和7年5月25日(日)、泉パークタウンゴルフ倶楽部で開催されました。優勝してしまった?ので原稿を、ということで書かせていただきます。

私は富谷市で開業しており、仙台市医師会員ではないので、まず自己紹介を致します。昭和62年に東北大学医学部を卒業、出身医局は東北大学第一外科(消化器外科)であり、登録医会代表幹事の伊藤賢司先生、院長の土屋誉先生の後輩です。平成14年に開業し、現在は黒川医師会の副会長を務めております。

消化器外科が専門だったこともあり、消化管・肝胆膵内科や救急担当の先生にお世話になることが多く、仙台オープン病院は非常にありがたい存在となっています。

主題のゴルフの話に戻ります。前日は練習場へ行こうと思っていたのですが、前日の夜から当日午前中は雨の予報だったので、あまり気が乗らず、行かずじまいでした。

当日はやはり雨模様で、コンペの参加者は14名といつもより若干少なかったようです。OUTの第2組からスタートし、以前にもこのコンペでご一緒させていただいたことのある湯村和博先生、野崎舜先生、また、登録医会副代表幹事の石田一彦先生と同組でした。

第1打がいきなり右へのOBであり、1番ホールはダブルパー(8)の出だしでした。こればどうなることやらと思

いましたが、同組の先生方のすばらしいショットを見せていただいたためか、徐々に持ち直して前半は51と、100を切るのが目標の私にとってはますますのスコアでした。

後半はすっかり雨も上がり、暑くもなく寒くもなく、風もあまりないちょうどいい天気になりました。15番のショートホールはニアピンこそ取れなかったものの、まぐれのバーディーもあり、後半は48、合計99と目標の100切りができました。1番ホールのダブルパーと、いつものように出るトリプルボギー(3つありました)が全て隠しホールにマッチしたことが、今回の望外の結果につながったようです。練習してもしなくても結果には相関がないという、まさにアマチュアゴルファーの典型ですね。

とはいえ、優勝という響きはなかなかいいものです。家に帰って早速自慢しましたが、家族は賞品(カタログギフトをいただきました)にしか興味がなかったようです。

このような機会を毎年作ってくださっている仙台オープン病院の関係者の方々、登録医会の企画担当の先生方に厚く御礼申し上げます。ご報告とさせていただきます。ありがとうございます。



順位	参加者名	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
優勝	渋谷 和彦	51	48	99	27.6	71.4
準優勝	菅野 良秀	41	38	79	6.0	73.0
3	伊藤 聡彦	52	53	105	28.8	76.2
4	中澤 秀喜	56	48	104	27.6	76.4
5	湯村 和博	44	54	98	21.6	76.4
6	中林成一郎	50	46	96	19.2	76.8
7	野崎 舜	48	41	89	12.0	77.0
8	石田 一彦	43	44	87	9.6	77.4
9	中目 貴彦	54	52	106	27.6	78.4
10	結城 道広	52	42	94	14.4	79.6

令和 7 年 6 月 28 日
ホテルメトロポリタン仙台

演題：NanoTerasu(ナノテラス)が拓く医療の未来

～最先端放射光がもたらす診断・治療へのインパクト、そして、東北の地から国を動かす挑戦～

講師：東北大学 副理事／光科学イノベーションセンター 理事長 高田 昌樹



日本は超高齢化社会を迎え、がん、神経変性疾患、新興感染症といった複雑な医療課題に直面しています。これらの課題に対し、対症療法だけでなく、生命現象の根本理解に基づく解決が不可欠です。その鍵を握るのが、2024 年に本格稼働した世界最高水準の軟 X 線放射光施設「NanoTerasu(ナノテラス)」です。

NanoTerasu は、物質をナノレベルで可視化する「巨大な顕微鏡」に例えられます。特に、従来の施設では難しかった、生体を構成する主要元素（炭素・窒素・酸素など）の観察を得意とする「軟 X 線」において世界最高の性能を誇り、生命科学に革命をもたらすポテンシャルを秘めています。

【診断へのインパクト】

NanoTerasu は、診断のあり方を根底から変える力を持ちます。一つは、がんの超早期診断です。細胞の元素分布や化学状態を詳細に分析することで、画像診断では捉えきれない微小ながん細胞の「顔つき」を見分け、悪性度を精密に判定することが可能

になります。また、アルツハイマー病など神経変性疾患においては、原因とされる異常タンパク質の凝集プロセスを直接観察し、発症メカニズムの根本的な解明や、治療薬開発に繋がることが期待されます。

【治療へのインパクト】

治療の分野では、創薬プロセスを劇的に革新します。病気の原因となるタンパク質の立体構造を原子レベルで正確に解析し、最適な化合物を理論的に設計する「構造ベース創薬」を加速させます。これにより、開発期間の短縮と副作用の少ない新薬創出が可能です。さらに、薬剤を患部に効率的に届ける DDS(ドラッグ・デリバリー・システム) 技術においても、ナノキャリア内部での薬剤の状態を可視化し、より効果的な治療法の開発に貢献します。

【東北から国を動かす挑戦】

しかし、NanoTerasu の挑戦は最先端技術だけにとどまりません。その真髄は、企業・大学・行政が参画し、迅速で柔軟な課題解決を目指す「コアリション(有志連合)」という新しい産学官共創の「仕組み」にあります。この精神の源流は、かつて岩手県沢内村で「命を守る」という強い意志で医療費無償化を成し遂げ、国を動かした深澤晟雄元村長の「共創による変革」にあります。

NanoTerasu は、この「先に動く」という東北の変革の魂を受け継ぎ、科学技術と社会を動かす仕組みを融合させる挑戦です。この光が、診断・治療の『新たな武器』を創り出し、東北の地から日本の医療、そして世界の未来を照らす希望となることを確信しています。

令和7年度登録医会・仙台オープン病院共催



ビールパーティー

Beer Party



令和7年7月18日(金) ホテルメトロポリタン仙台において、
恒例の登録医会・仙台オープン病院共催のビールパーティーが開催されました。

登録医 56 名、医局員 33 名を含む総勢 124 名の参加で行われました。

登録医会代表幹事伊藤賢司先生、仙台市医師会会長安藤健二郎先生、
仙台オープン病院院長土屋誉のご挨拶に続き、仙台市内科医会顧問の長島道夫先生の乾杯で
ビールパーティーがスタートしました。

多くの登録医の先生方と職員が情報交換を行い、和やかな雰囲気の中、
ビンゴゲームで盛り上がりました。今年の「おたのしみくじ」の景品には、登録医会代表幹事賞、
仙台市医師会会長賞、仙台オープン病院院長賞、仙台市医療センター副理事長賞と沢山の景品が
ご提供され当選発表では大いに盛り上がりました。

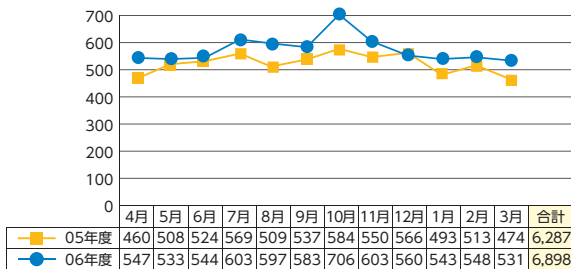
最後は仙台市医師会副会長の草刈千賀志先生より閉会のご挨拶をいただき
盛会のうちに終了しました。



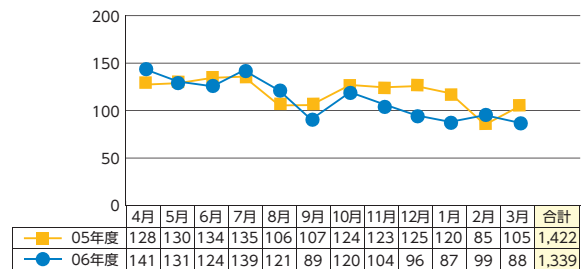
紹介患者実績

● 令和6年4月～令和7年3月の実績は下記の通りです。ご紹介ありがとうございました。

①紹介患者件数

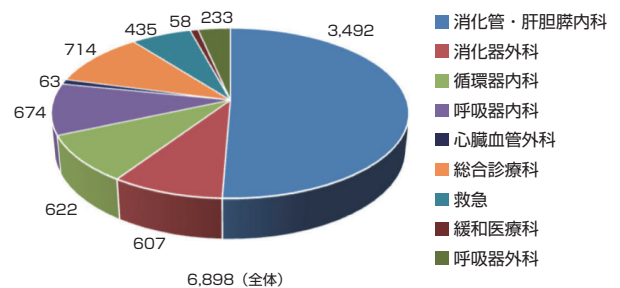


②検査予約の受付件数



③診療科別受付件数（紹介患者件数に対して）

令和6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
消化管・肝胆膵内科	270	248	273	311	313	317	363	335	282	251	273	256	3,492
消化器外科	43	48	50	52	61	51	68	46	39	54	48	47	607
循環器内科	55	43	46	59	48	45	75	51	47	59	46	48	622
呼吸器内科	38	47	51	46	48	55	72	54	66	77	54	66	674
心臓血管外科	5	4	4	9	4	5	8	4	4	6	3	7	63
総合診療科	69	63	53	63	51	54	65	62	57	52	67	58	714
救急	30	40	33	40	43	35	38	38	38	33	39	28	435
緩和医療科	4	6	5	5	5	2	5	3	7	2	6	8	58
呼吸器外科	33	34	29	18	24	19	12	10	20	9	12	13	233
合計	547	533	544	603	597	583	706	603	560	543	548	531	6,898

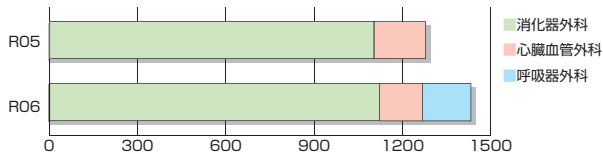


診療実績

● 令和6年4月～令和7年3月（前年度対比）
の紹介検査件数は下記の通りです。

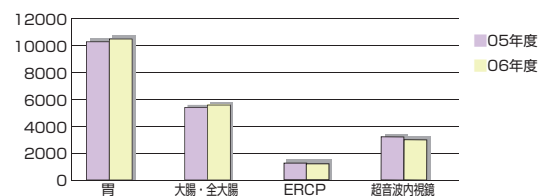
①手術件数

	令和5年度	令和6年度
消化器外科	1,110	1,125
心臓血管外科	121	93
呼吸器外科	0	144
計	1,231	1,362



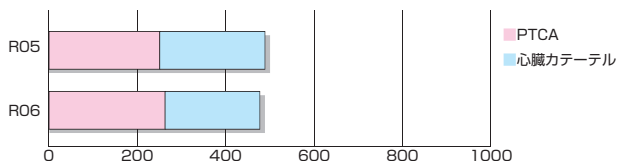
②内視鏡検査件数

	令和5年度	令和6年度
胃	10,618	10,631
大腸・全大腸	5,343	5,398
ERCP	836	809
超音波内視鏡	3,007	2,946
計	19,804	19,784



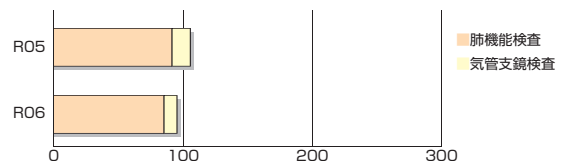
③心臓カテーテル検査件数

	令和5年度	令和6年度
PTCA	230	236
心臓カテーテル	262	234
計	492	470



④肺機能検査件数

	令和5年度	令和6年度
肺機能検査	93	88
気管支鏡検査	16	9
計	109	97



● 登録医会員数の現況 (令和7年8月31日現在 618名)

令和7年1月以降、登録医会にご入会いただきました先生方です。

(敬称略)

入会月	氏 名	医療機関名	診療科、専門科	地 区
2月	柳澤 輝行	YK 在宅クリニック	内科、循環器科、外科、呼吸器科	泉区
	三浦 裕	みうら内科・心臓血管クリニック	内科、循環器科	若林区
3月	川端 雄一	みんなの在宅クリニック仙台	内科、神経内科	太白区
	山谷 一広	みどり台ヒルズクリニック	内科、循環器科、心臓血管外科	名取市
	高橋 博之	富沢西スポーツ整形外科	整形外科、リハビリ科	太白区
4月	鈴木 晋介	仙台東脳神経外科病院	脳神経外科、内科、形成外科、麻酔科、リハビリ科	宮城野区
	小野寺 啓	国見ヶ丘内科、糖尿病クリニック	内科、糖尿病科	青葉区
5月	渡邊 崇	福田内科クリニック	内科	泉区
	今野 昌俊	杜の里内科クリニック	内科、神経内科	若林区
	柏葉 光宏	八乙女駅前かしわば整形外科	整形外科、リハビリ科	泉区
6月	泉山 拓也	いずみやまりウマチ整形外科クリニック	リウマチ科、整形外科、リハビリ科	宮城野区
	神林 孔明	愛心内科クリニック	内科、消化器科、循環器科、呼吸器科	多賀城市
	川越 徹彰	やまと在宅診療所仙台北	内科、外科、皮膚科	青葉区
7月	谷田 篤史	国分町たにた内科・循環器内科	内科、循環器科	青葉区
	高橋 宏和	仙台泉クリニック	内科、外科	泉区
	菅野 庸	こころの陽だまりクリニック 仙台北一番町	精神科、心療内科	青葉区
	臼井 葉月	柏木クリニック	内科、血液透析	青葉区
8月	金 笑奕	芳縁在宅診療所八幡	内科、外科	青葉区
	川村 雄剛	仙台みやぎの訪問クリニック	内科、消化器科、小児科	宮城野区

■ 職員人事 (令和7年5月1日～令和7年8月31日)

(令和7年8月31日)

発 令	職 名	所 属	氏 名	発 令 日	備 考
退職	内科医長	医局	谷田 篤史	R7.7.31	循環器内科
退職	副院長・ 消化器外科・一般外科部長	医局	及川 昌也	R7.8.14	消化器外科・一般外科

仙台オープン病院外来診療スケジュール

先生方からご紹介いただく患者さんは毎日受付しております。救急センターは24時間受け入れしております。

令和7年10月1日より

		月	火	水	木	金
消化管・ 肝胆膵 内科	消化管	清水 孟	佐藤 宏樹	嶋田 奉広	是川 海	山形 拓
	肝胆膵	伊藤 啓 藤瀬 寛	菅野 良秀 小堺 史郷	與那嶺 圭輔 宮本 和明	越田 真介 酒井 利隆	小川 貴央 岡野 春香
循環器内科		尾形 剛樹 野田 一 (新患担当)	浪打 成人 野田 一 瀧井 暢 (新患担当)	瀧井 暢剛 尾形 暢 (新患担当)	砂村 慎一郎 谷田 篤史 浪打 成人 (新患担当)	砂村 慎一郎 (新患担当)
呼吸器内科		米地 敦	進藤 百合子 洞口亮/田島直美 (第2、4)/(第1、3、5)	米地 敦		進藤 百合子
呼吸器外科		三友 英紀			田畑 俊治	田畑 俊治
消化器外科 一般外科		阿部 哉美 川名 友美	益田 洋一郎 林 秀一郎	土屋 誉瞬 中山	柿田 徹也 齋藤 達	赤澤 直也 代診医
心臓血管外科		吉田 聖二郎			吉田 聖二郎 (午前) 新田 能郎 (午後)	
緩和医療科				進藤 百合子		
化学療法科			東北大学病院 大内 康太		東北大学病院 小峰 啓吾	
スキンケア外来 (予約制)				担当チーム (午後1時～)		

受付時間 午前8時30分～午前11時

- 検査・入院などのご予約について ……総合サポートセンター

代表番号 TEL 022-252-1111 FAX 022-252-1126

※登録医予約専用ダイヤルは平日18:00まで、土曜日9:00～13:00

※診察・検査につきましては事前に予約されている場合でも、当日の外来状況により待ち時間が発生することがございます。
何卒、ご理解、ご了承願います。

- 緊急な患者さんをご依頼の場合 ……救急センター

TEL 022-252-0100 FAX 022-252-0264 (救急受付直通)

URL <http://www.openhp.or.jp> E-mail renkei@openhp.or.jp

- 編集委員 田畑 俊治、武沢 弘輝、菅井 健佑、大原 麻子、丹野 寛子、熊坂 望、加藤 真子